

## 異学年学習交流会（中高一貫教育の特色を生かした試み）

### I ようこそ先輩 < 中等部3年 : 高校3年 >

高校3年生を中学3年生の学級に招待し、各自の学習や生活等学校生活における体験談を聞いた  
り将来の夢について聞いたりすることにより今後の中学校生活の参考としました。

※ 中等部生徒の感想はホームページ(「ようこそ先輩」)に載せてあります。



### II 中等部生と高校生の学習交流会1 < 中等部1年 : 高校1年 >

高校1年生がチューターとなって中等部1年生の学習指導をしました。中等部生にとっては学習内容を理解することができるのももちろん効果的ですが、高校生にとっても自らの学びの原点を振り返るよい機会となりました。今回は、数学と社会の2教科に絞り、高校生の理系希望者が数学を文系希望者が社会を指導しました。中等部生の感想には「高校生が優しく・熱心に教えてくれるので生き生きと質問することができ、とてもよい機会となりました。」とありました。高校生も「自分が中学生の時にこのような交流会を望んでいたので実現してうれしかった。」等の意見があり、好評だったようです。今回だけでなく今後も継続していきたいと思います。



### III 中等部生と高校生の学習交流会2 < 中等部1年 : 高校1年 >

高校1年生がチューターとなって中等部1年生の数学の学習指導をしました。事前に授業で確認テストを行い、それをもとに解き方や類似問題の解き方・小テストを行いました。中等部生1人に対して高校生2人でペア指導の形態をとりました。

※指導範囲ー正の数・負の数、文字式、一次方程式、比例と反比例

※事後アンケートをとり、参加者の満足度と定期試験における学習課題の達成度を評価する。



#### IV 中等部から高校へ進学する生徒への指導 <中等部3年 : 高校職員・高校3年>

##### 1 本校高校教員より

- ・高校の授業に臨む姿勢について
- ・高校の授業で求められることについて
- ・高校進学までの課題について

等、説明を受けることにより高校進学への心構えをもつことをねらいとしています。さらに、進学までの学習計画をたて、高校の学習にスムーズに入れるよう準備する機会と考えています。

##### 2 本校高校3年生より

高校3年間の学習や受験勉強への取り組み、志望大学の決定、合格の喜び等の体験を中等部3年生が聞くことにより、大学進学や高校生活への心構えを作り、残りの中学校生活をより充実したものにするともに、将来を展望する機会と考えています。

#### 生徒の感想

※高校の先生の話聞いて、中学に比べ授業のスピードが速くなり勉強がたいへんになったり、予習復習が大切になったりということがよくわかりました。高3の先輩たちも努力して頑張ってきたのだなと思いました。少し、気が引き締まりました。

※高校生になっても同じ学校だからそこまで変わることはないと思っていたので、今回のお話でそうではないとわかりました。一番不安なのは勉強のことです。授業は進みかたが速くなります。家に帰ると疲れて寝てしまいます。まず、なんとか時間を見つけて勉強と休む時間のバランスを取りたいです。

#### V 中等部生と高校生の学習交流会3 <中等部2年 : 高校2年>

- 1 中等部2年生が高校2年生から高校生活について話を聞くことによって、将来の高校生活について目的をもって臨めるような機会とする。また、自分の描いた高校生活を実現するためには、今何をしなければならぬかを考える機会とする。
- 2 中等部2年生が高校生に質問したい教科の学習内容を各自用意し、高校生に教えてもらう。高校生は、中等部生に教えることを通して上級生であることを自覚し、今後の自分の高校生活に生かす。

#### 生徒の感想

※高校生にノートを見せてもらった。これからあのノートをお手本にして、ノートをとりたいと思った。

※宿題の量も、自習勉強もかなり増えることがわかった。単語や公式など、基礎がとても大切だということがよくわかった。

